



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場会社名 株式会社中村屋 上場取引所 東
 コード番号 2204 URL http://www.nakamuraya.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 達也
 問合せ先責任者(役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 二本松 壽 (TEL) 03-5454-7125
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	15,636	△1.9	△1,239	—	△1,176	—	△870	—
28年3月期第2四半期	15,939	2.9	△1,114	—	△1,075	—	△776	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △797百万円(—%) 28年3月期第2四半期 △789百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△146.73	—
28年3月期第2四半期	△131.16	—

(注) 当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	40,426	20,458	50.6
28年3月期	40,178	21,821	54.3

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 20,458百万円 28年3月期 21,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	10.00	10.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2 当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。なお、配当予想の実質的な変更はございません。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,900	8.5	1,620	33.7	1,680	34.3	1,050	41.4	177.41

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2 平成29年3月期通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	5,976,205株	28年3月期	5,976,205株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	47,438株	28年3月期	53,219株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	5,925,898株	28年3月期2Q	5,916,200株

(注)1 当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

(注)2 期末自己株式数には、従業員持株会処分型ESOP(信託口)が所有する当社株式数を含めて記載しております。

29年3月期2Q 35,600株 28年3月期 41,800株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績については、今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

(1株当たり配当及び業績予想について)

当社は、平成28年6月29日開催の第95回定時株主総会において、平成28年10月1日を効力発生日とする株式併合について承認可決され、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、株式併合を考慮しない平成29年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成29年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末 10円00銭
2. 平成29年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 17円74銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における菓子・食品業界は、消費マインドの回復に遅れが見られるなか、消費者の根強い節約・低価格志向による価格競争の激化や今夏の天候不順の影響などから先行きが不透明な状況が続きました。

このような環境の下、当中村屋グループは「中期経営計画2015-2017」の2年目を迎え、中期ビジョン「事業構造改革による現状打破を実行し、収益体質の強化と成長軌道への転換を図る」の実現に向け、新商品開発や新規販路開拓による売上高の拡大と効率化による生産性の向上に努めました。

しかしながら、不採算店舗の閉鎖等の影響により、当第2四半期連結売上高は、15,636,009千円 前年同期に対し302,657千円、1.9%の減収となりました。

利益面では、営業損失は1,239,192千円 前年同期に対し125,431千円の減益、経常損失は1,175,975千円 前年同期に対し101,180千円の減益、親会社株主に帰属する四半期純損失は869,518千円 前年同期に対し93,521千円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金の減少1,282,285千円等がありましたが、商品及び製品の増加565,424千円、繰延税金資産の増加428,636千円、原材料及び貯蔵品の増加235,636千円等により、前連結会計年度末に比べ248,398千円増加し、40,426,154千円となりました。

負債は、退職給付に係る負債の減少175,543千円、長期借入金の減少171,084千円等がありましたが、短期借入金の増加2,356,838千円等により、前連結会計年度末に比べ1,610,852千円増加し、19,968,061千円となりました。

純資産は、配当金の支払等による利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,362,454千円減少し、20,458,093千円となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,282,140千円減少し、1,102,832千円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,469,153千円の支出となりました。これは主に、売上債権の減少513,178千円等による収入があったものの、税金等調整前四半期純損失1,209,361千円、たな卸資産の増加による支出807,979千円等があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,408,554千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,362,299千円等があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,595,565千円の収入となりました。これは主に、配当金の支払額591,517千円等があったものの、短期借入金の純増額2,350,000千円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予測につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ1,970千円減少しております。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,391,205	1,108,920
受取手形及び売掛金	4,227,852	3,714,675
商品及び製品	1,233,864	1,799,288
仕掛品	49,608	56,527
原材料及び貯蔵品	1,061,029	1,296,664
繰延税金資産	409,775	838,411
その他	344,263	520,043
貸倒引当金	△4,929	△4,385
流動資産合計	9,712,667	9,330,143
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,112,232	8,136,630
土地	13,748,156	13,748,156
その他(純額)	2,002,260	2,704,257
有形固定資産合計	23,862,647	24,589,044
無形固定資産		
その他	262,790	276,598
無形固定資産合計	262,790	276,598
投資その他の資産		
投資有価証券	5,515,945	5,496,153
その他	831,228	741,257
貸倒引当金	△7,521	△7,041
投資その他の資産合計	6,339,652	6,230,369
固定資産合計	30,465,089	31,096,011
資産合計	40,177,756	40,426,154
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,507,967	1,585,193
短期借入金	343,412	2,700,250
リース債務	47,566	48,742
未払法人税等	208,588	111,914
賞与引当金	614,787	574,646
資産除去債務	—	14,125
その他	2,326,870	1,944,225
流動負債合計	5,049,190	6,979,096
固定負債		
長期借入金	4,084,637	3,913,553
リース債務	101,864	97,196
繰延税金負債	841,380	927,084
退職給付に係る負債	6,841,708	6,666,165
資産除去債務	84,784	75,816
その他	1,353,646	1,309,151
固定負債合計	13,308,019	12,988,965
負債合計	18,357,209	19,968,061

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,469,402	7,469,402
資本剰余金	8,136,391	8,139,301
利益剰余金	6,796,116	5,334,299
自己株式	△218,584	△195,128
株主資本合計	22,183,325	20,747,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,408,870	1,392,260
退職給付に係る調整累計額	△1,771,648	△1,682,041
その他の包括利益累計額合計	△362,778	△289,781
純資産合計	21,820,547	20,458,093
負債純資産合計	40,177,756	40,426,154

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	15,938,667	15,636,009
売上原価	9,960,513	9,937,753
売上総利益	5,978,154	5,698,256
販売費及び一般管理費	7,091,915	6,937,449
営業損失(△)	△1,113,761	△1,239,192
営業外収益		
受取利息	1,347	335
受取配当金	41,247	53,150
その他	27,556	24,379
営業外収益合計	70,150	77,864
営業外費用		
支払利息	16,516	12,778
支払手数料	3,728	1,500
その他	10,940	369
営業外費用合計	31,184	14,647
経常損失(△)	△1,074,795	△1,175,975
特別利益		
固定資産売却益	—	604
特別利益合計	—	604
特別損失		
固定資産除却損	6,902	19,083
固定資産売却損	2,019	—
投資有価証券評価損	2,091	—
減損損失	16,253	14,389
資産除去債務履行差額	—	518
特別損失合計	27,266	33,990
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,102,060	△1,209,361
法人税、住民税及び事業税	35,853	34,844
法人税等調整額	△361,915	△374,687
法人税等合計	△326,062	△339,843
四半期純損失(△)	△775,998	△869,518
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△775,998	△869,518
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,346	△16,610
退職給付に係る調整額	2,687	89,607
その他の包括利益合計	△12,659	72,997
四半期包括利益	△788,657	△796,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△788,657	△796,521
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,102,060	△1,209,361
減価償却費	524,750	547,286
減損損失	16,253	14,389
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,156	△1,024
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,020	△40,141
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△176,595	△46,389
受取利息及び受取配当金	△42,594	△53,485
支払利息	16,516	12,778
為替差損益(△は益)	293	△3
投資有価証券評価損益(△は益)	2,091	—
有形固定資産除却損	6,902	19,083
有形固定資産売却損益(△は益)	2,019	△604
売上債権の増減額(△は増加)	356,307	513,178
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,294,665	△807,979
仕入債務の増減額(△は減少)	441,402	77,226
未払消費税等の増減額(△は減少)	△318,784	△402,264
役員退職慰労未払金の増減額(△は減少)	△5,091	—
その他	△102,755	4,337
小計	△1,678,874	△1,372,971
利息及び配当金の受取額	58,372	59,351
利息の支払額	△16,303	△12,868
法人税等の支払額	△68,963	△142,664
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,705,767	△1,469,153
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	255,059	145
有形固定資産の取得による支出	△315,573	△1,362,299
無形固定資産の取得による支出	△37,330	△44,371
投資有価証券の取得による支出	△5,101	△5,250
投融資による支出	△71,084	△4,645
投融資の回収による収入	107,136	7,244
資産除去債務の履行による支出	△12,000	—
その他	480	620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,413	△1,408,554
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,600,000	2,350,000
長期借入金の返済による支出	△36,149	△164,246
リース債務の返済による支出	△27,859	△25,037
自己株式の純増減額(△は増加)	26,523	26,366
配当金の支払額	△590,281	△591,517
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,972,233	1,595,565
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,293	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	185,760	△1,282,140
現金及び現金同等物の期首残高	1,505,002	2,384,972
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,690,763	1,102,832

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	菓子事業	食品事業	飲食事業	不動産 賃貸事業	その他の 事業(注)	
売上高						
外部顧客への売上高	9,763,703	3,483,533	1,585,832	668,858	436,741	15,938,667
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	81,856	-	81,856
計	9,763,703	3,483,533	1,585,832	750,714	436,741	16,020,523
セグメント利益 又は損失(△)	△584,101	199,773	△40,955	250,461	35,463	△139,359

(注) 報告セグメントの「その他の事業」は、連結子会社が営むスポーツクラブの営業及び保険代理業であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△139,359
全社費用(注)	△974,402
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△1,113,761

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、当初想定していた収益が見込めない一部の店舗及び「菓子事業」セグメントにおいて、営業所の移転確定に伴う一部設備撤去による減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては16,253千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	菓子事業	食品事業	飲食事業	不動産 賃貸事業	その他の 事業(注)	
売上高						
外部顧客への売上高	9,318,765	3,677,274	1,513,834	664,503	461,634	15,636,009
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	81,150	-	81,150
計	9,318,765	3,677,274	1,513,834	745,653	461,634	15,717,160
セグメント利益 又は損失(△)	△695,094	242,143	△61,568	225,114	48,323	△241,082

(注) 報告セグメントの「その他の事業」は、連結子会社が営むスポーツクラブの営業及び保険代理業であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	△241,082
全社費用(注)	△998,110
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△1,239,192

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、当初想定していた収益が見込めないため、一部店舗において減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上は当第2四半期連結累計期間において14,389千円であります。